

# 理科(第3回)

問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)
1	(1)	2	(1)	3	(1) ①	4	(1)
	(2) 記述		(2)		②		(2)
	(3)		(3)		③		(3)
	(4)		(4) ①		(2) ①		(4)
	(5)		②		②		(5)
	(6) ①		③		(3)		(6)
	②		(5)		(4)		(7)
			(5) 記述	(5) 記述	(8)		

合格者最高点 60

合格者最低点 29

1

音についての問題です。

- (1) 選択肢のアは、共鳴のよく知られた例です。共鳴に限らず、現象については、その例も覚えておくとよいでしょう。
- (2) 水中での音の伝わり方についての知識と、音のくる方向を判断するしくみについての知識を結びつけて答える問題です。普段の学習で知識を豊かにするとともに、知識どうしを結びつけることも心がけましょう。
- (3) よくできていました。
- (4), (5), (6) 複雑な問題でも、図を描いて整理することで状況がとらえやすくなります。自分で図を描きながら問題を解く練習をしましょう。

2

水の電気分解についての問題です。

- (1) 水溶液の分け方には何通りかありますが、電流の通し方による分け方も確認しておくとういでしょう。
- (2), (3) 水素や酸素などの基本的な気体の発生方法や性質はまとめておくとういでしょう。
- (4) グラフを読み取る力をみる問題です。グラフの比例関係を利用して数値を求められるようにしましょう。
- (5) 1 : 8 とする誤りが多かったです。グラフから読み取ったことだけでなく、問題文中の「水の電気分解を行うと、水素と酸素が 2 : 1 の体積比で生じます」という説明も考えに入れて答えを導きましょう。

**3**

食材に使われる生物についての問題です。

- (1) ①, ②クリは身近にある無胚乳種子をつくる植物です。身近なものと知識とを結びつけられるように、普段から心がけましょう。  
③風ばい花をつくる植物の例を一つ一つ覚えていくのではなく、風ばい花に共通する特徴を知り、そこからその植物が風媒花なのかどうかを判断できるようにしましょう。
- (2) 食物の消化については、どの養分がどの消化液によって消化され、最終的にどのような物質となってどこに吸収されるかをまとめておきましょう。
- (3) やや細かい知識を問う問題ですが、種子植物以外を選ぶことにより正解を導くことができます。
- (4) キャベツの花を実際に見たことがなくても、キャベツがアブラナ科の植物であることから、アブラナと似た花をつけるのではないかと推測しましょう。
- (5) 光合成が始まってからもしばらくの間は光合成の量が呼吸の量を下回るため、芽ばえの重さが減少していくことに気がつかなかった人が多かったです。

**4**

地表の変化についての問題です。

- (1) 6月とする誤りが多く、図5の縦軸を気温の変化と勘違いした人がいたようです。グラフが何を示しているのかを注意深く読み取る習慣を身につけましょう。
- (2) 選択肢のアを選ぶ誤りが多かったです。昼の長さが長くなるほど太陽の南中高度が高くなると勘違いした人が多かったです。
- (3) グラフから、1年間の昼の長さの平均はどの地点でも12時間であることを読み取ることができれば解きやすかったと思います。
- (4) 気温が変化するしくみを、太陽高度、地温と関連づけて理解するようにしましょう。
- (5), (6) 図6のグラフから読み取った内容を図5のグラフに当てはめて考える問題です。それぞれのグラフで読み取りの誤りがあると、正解することができません。普段からグラフをていねいに読み取る習慣を身につけましょう。
- (7) 夏の天気予報でよく聞く言葉です。よく聞く言葉で意味のわからないものがあるときは積極的に自分で調べてみましょう。
- (8) 選択肢のオを選ぶ誤りが多かったです。温室効果に関連する赤外線と、オゾン層の破壊に関連する紫外線を混同しないように注意しましょう。